

町の決算



まちづくりに63億円

ふるさと農道「佐野平線」

町の平成16年度一般会計と特別会計の決算が、9月定例議会で認定されました。町の予算は「一般会計」と「特別会計」の二つに分けられ、町民の福祉の向上や生活環境の整備のために使われています。

歳入 地方交付税 1億8千万円の減

平成十六年度の歳入は、約六十三億六千二百二十七万円。前年度に比べ、十億六千四百四十三万円、一四・五%減っています。

主な減少要因は、平成十四年に起きた大雨被害による災害復旧事業がほぼ完成したことによるもので、災害復旧事業費国庫支出金が前年度に比べ四億一千万円、四四・八%減っています。

歳入で最も多いのは、地方交付税の三十億二百八十六万円（構成比四七・八%）です。前年度比では一億八千三百十三万円、五・七%減っています。

国庫支出金は、九億六千三百十四万円（一五・三%）で、前年度より四億六千五百八十八万円、三二・六%減っています。

町債は六億二千二十万円

（九・九%）で、学校給食施設整備事業債や廃棄物処理施設整備事業債が施設完成によって皆減するなど、町債全体では前年度に比べ四億五千八百十万円、四二・五%減少しています。

自主財源は、町税が四億九千二百三十万円（七・八%）で平成十一年度以来、五年ぶりに増えています。町民税は前年度に比べ六・二%減っているものの、固定資産税は、上外川風力発電施設など償却資産分が伸びたことにより二三・二%増えています。

繰入金は、地域づくり振興基金や減債基金などからの繰り入れが増え、全体で一億五千二百二十八万円増えています。

財政用語の解説

- 町税：町民税、固定資産税、軽自動車税など
- 諸収入：負担金や使用料、財産収入、寄付金など
- 地方交付税：町の財政力に応じ、国から配分されるお金
- 町債：事業を行うときに国などから借りるお金
- 国庫・県支出金：町が行う事業に対し、国や県から負担金・補助金として交付されるお金
- 自主財源：町税など町が独自に集めているお金
- 依存財源：国や県の支出金や町債として借りるお金
- 自主財源比率：収入全体に占める自主財源の割合
- 総務費：全般的な事務経費や財産管理費、積立金など
- 民生費：老人・児童など社会福祉のために使うお金
- 衛生費：病気予防など各種検診やゴミ処理などに使うお金
- 農林水産業費：農道や林道の整備、農林業の振興に使うお金
- 商工費：商工業の振興や観光開発などに使うお金
- 土木費：町道や河川、橋などの整備に使うお金
- 教育費：学校教育や生涯学習などを行うために使うお金